

鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合に関する説明会会議録

日時 令和7年1月13日(月)
午前9時～午前9時55分
場所 鴨島東中学校 家庭科室
出席者数 10人

次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 説明
 - (1) 生徒数及び学級数の推移予測
 - (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言
 - (3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果
 - (4) 統合に関する方針
 - (5) 統合準備委員会の体制(案)
- 4 質疑応答
- 5 教育長あいさつ
- 6 閉会

会議の経過

事務局から説明	(1) 生徒数及び学級数の推移予測 本年度の鴨島東中学校の生徒数は、通常学級106人・特別支援学級14人の合計120人で、2年生が1クラスとなっている。 令和9年度には、すべての学年で1クラスとなる見込みであり、令和18年度には本年度の約半数の63人になる見込みである。 鴨島東中学校と鴨島第一中学校が統合した場合の生徒数は、令和9年度では通常学級387人・特別支援学級42人の合計429人で、計13クラスになる見込みである。 両校が統合した場合、1学年3クラス以上を確保できる見込みであり、望ましい学級数を維持できると考えている。 (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言 検討委員会から「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合し、生徒にとってより望ましい教育環境を早急に実現すること。」、また、「牛島小学校及び森山小学校は、直ちに学校再編の必要性はない。」との提言をいただいた。 また、統合に当たっての「留意事項」として、学校運営の円滑な移行に取り組むこと、できるだけ早期に方向性を示し統合すること、通学支援や通学路の安全対策についてのご意見をいただいた。
---------	---

(3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果

対象者437人中234人の方から回答があり、回答率53.5%、「統合に賛成」が51.3%、「統合に反対」が28.6%、「どちらともいえない」が20.1%となった。

「賛成」の理由は、生徒数を理由とするもの、「反対」の理由は、通学距離を理由とするもの、「どちらともいえない」の理由は、通学距離や通学支援を理由とするものが最も多い結果となった。

(4) 統合に関する方針

「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合する。」「統合の時期は、令和9年4月1日」、「統合校の位置は、現在の鴨島第一中学校の場所」との方針を決定した。

基本的事項について、「統合の時期」は、令和9年度にはすべての学年で1クラスになる見込みであること、統合の準備に2年は必要であることから令和9年4月1日とした。

「統合校の名称及び校舎」について、学校の名称は生徒及び保護者の意向を十分に踏まえる必要があることから、準備組織の中で協議する。また、校舎は鴨島第一中学校校舎を使用し、空き教室の改修で対応する予定である。

「通学区域」は、鴨島地区全域となる。

「通学への対応」は、通学の負担が著しく増える生徒に対しては、スクールバスを念頭に必要な支援を検討する。通学路の安全対策も学校の協力も得ながら必要な措置を講じる。

「統合に向けた交流活動」は、新しい環境へのストレスを少しでも緩和し、両校の生徒が学校生活を円滑に開始できるよう、統合までの2年間、様々な交流活動に取り組む。

「準備組織」は、準備組織を設置し、教育計画や通学体制等の必要な事項について協議する。

(5) 統合準備委員会の体制（案）

教育計画や通学支援などの統合に向けて必要な事項を協議する「統合準備委員会」を設置し、「総務部会」、「学校運営部会」、「通学部会」、「PTA部会」を設ける。

令和7年4月の設置を目途に、本年度中に各部会委員の人選や、具体的な協議事項の洗い出しを行う予定である。

質疑応答

【以下質疑応答】

○通学支援について、「通学の負担が著しく増える」とは、どの程度を想定しているか。

→通学部会で協議することとしているため、現時点では決まっていない。

○スクールバスの本数や時間帯は。

→通学部会の中で対象者の範囲や運行経路を協議することとしている。山川中学校の例で申し上げると、登校時は1便体制での運行だが、下校時は早い便と遅い便の2便体制で運行している。

○令和9年度を待たずに一中へ進学する生徒が増えれば、さらに生徒数が減り、部活動への影響も考えられるが、その場合の活動はどうなるのか。

→統合前から合同チームで部活動を行いたいとの要望もあったため、その旨を中学校体育連盟へ要望してまいりたい。また、統合に向けてスムーズに移行できるよう、しっかりと詰めていきたい。

- 通学路の安全対策は、どのようなものか。
 - 新たに通学路となる道路に危険箇所等があれば、道路管理者や警察などの関係団体へ改善を要望する。例えば、街灯や交差点の安全対策などが考えられる。また、通学の安全対策については、最優先事項と考えているところであり、スクールバスを含め、保護者の皆さんに安心していただけるよう心がける。
- スクールバスの前倒し運行について
 - 令和7年度早々に車両や運転手の確保まで完了させることは困難だが、できる限り早期に通学支援の内容を固め、前倒し運行についても検討していきたい。
- 令和9年度を待たずに一中への入学は可能か。
 - 指定校変更の申請は可能。
- 制服に対する支援は。
 - 途中で制服が変わることとなる生徒の皆さんについては、何らかの支援が必要と考えている。支援の内容についても早めに詳細を詰めてご案内したい。
- 指定校変更の申請は、1月末を過ぎても受け付けてくれるのか。
 - ご相談いただければ、柔軟に対応したい。
- 東中学校へ進学する予定人数を保護者に知らせてほしい。
 - 保護者の方の了解が得られれば、お知らせしたい。
- 交流活動はいつから始められるのか。
 - 令和7年度にできるものから順次行っていく。
- 交流事業の内容は。
 - 学校運営部会の中で決めていくが、遠足や文化祭などの学校行事や部活動の合同チームのほか、オンラインでの合同授業などが想定される。
- 統合までの2年間を充実したものにしてほしい。
 - 統合によって生徒がしんどい思いをしないよう、しっかりとやっていく。
- 両校がこれまで培ってきた良い取組を大事にしてほしい。
 - 学校運営部会には、教職員やPTAの方にも参加いただくこととしているので、そこで様々なご意見を伺いながらすり合わせていきたい。また、統合して良かったと思ってもらえる学校づくりに努めていきたい。